

都市の繁栄と交通路.1

名前

解答

解答

問1 17世紀後半には、3つの都市が著しく発展していた。この3つの都市はどこか。

( 江戸 ) ( 大阪 ) ( 京都 )

問2 18世紀の初めには、江戸の人口は約何人に達したか。

( 約100万人 )

問3 江戸時代、全国の商業の中心地となっていた都市はどこか。

( 大阪 )

問4 大きな寺社のある古くからの都で、西陣織などの優れた工芸品が作られた都市はどこか。

( 京都 )

問5 三都や城下町では、商人が同業者ごとに組合を作った。この組合を何というか。

( 株仲間 )

問6 金銀の交換を行う商人を何というか。

( 両替商 )

問7 金銀の交換を行う商人の中には、藩に貸し付けを行うなど、大きな力を持つようになった者も現れた。金を貸し付けた藩の財政に関わるなど、大きな力を持つようになった商人には何家があるか。

( 江戸の三井家、大阪の鴻池家 )

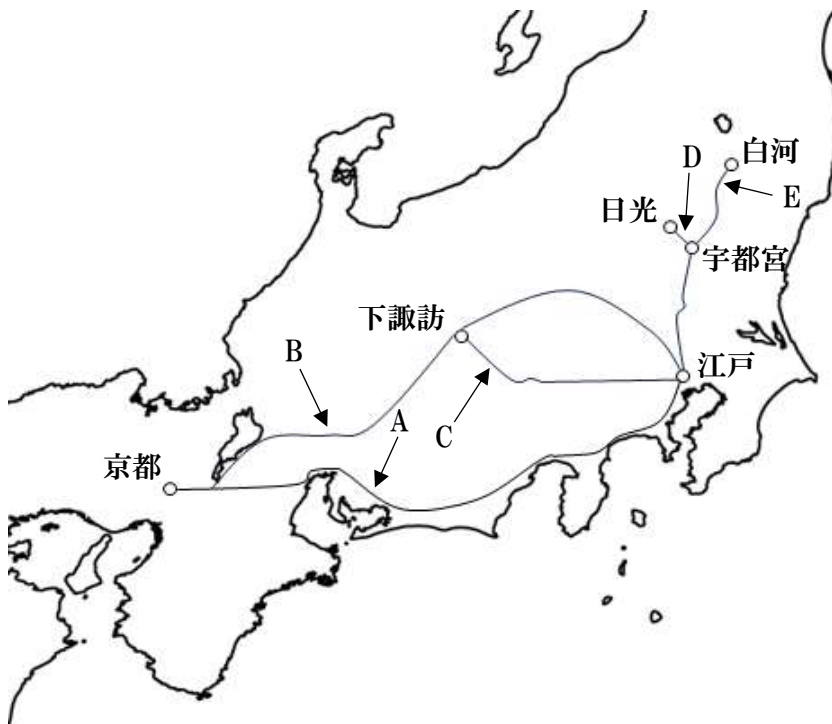
問8 商品を現金で売る新しい商法で大繁盛した江戸の呉服店は何か。

( 越後屋 )

問9 江戸時代、幕府が整備を行った主要な5つの街道を何というか。

( 五街道 )

問10 下図のA～Eは問9の5つの街道である。A～Eの名称をそれぞれ答えよ。



( A:東海道 )

( B:中山道 )

( C:甲州道中(甲州街道) )

( D:日光道中(日光街道) )

( E:奥州道中(奥州街道) )

